

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



ことばあそびのすすめ①

毎朝、楽しそうに会話を楽しみながら登園して来る親子がいます。何を話しているのだろうか？と耳をすますと、「しりとり」のようでした。とてもイイと思います。「しりとり」は年少さんからオススメです。

他にもオススメの「ことばあそび」がありますのでいくつか紹介しましょう。

「マジカルバナナ」（昔のTV番組でありましたね！年長向き？）は、「発想する力」「頭の回転の速さ」が磨かれると思います。「バナナと言ったら黄色」→「黄色と言ったらひまわり」→「ひまわりと言ったらお日様」→「お日様と言ったら夏」・・・と2人以上で連想した単語を繋いでいくのです。ルールは、他人の連想した単語を否定しないこと。連想は「自由」なのです。スタートの単語は何でもOK。小学生には、制限時間（長くて3分程）を決めて、いくつ連想できるかというゲームにしました。高学年では更にレベルをあげて、一人ずつ3分間繋いだ後、グループみんなで力を合わせ、単語を頭から全て再生できたら「成功」にしました。（とても集中力が必要です）



私の感覚ですが、単語から「連想する力」は、いづれ「作文力」の素地になります。子どもが面白さを感じるようならやってみて下さい。何事も「遊び感覚」が大事ですから。

こ違自こで | そ能本ま大人 バ不
とわ身とす下年の力来す人差教 | 自生
がずたに ° 長工がの ° がが育サ由活
でにちよ順もさ夫発課ち思大のルさ用
きバのつ番ユんは揮題ようき世デを品
たト力てが二の是でにつ以く界ザ軽や
のんで ° バリ非き向と上 ° にイ減建
でを順子視 | レとるか | しに集も | ンす
すつ番ど覚サ | ものつた困団そ | ーる
。なをも化ルの必でて工難でれと | 言
い考た ° デ ° 要あ ° 夫をのは | 言
でえちさザ順でれ持で感遊あ | い
走 ° はれイ番すばてそじびり | ます
る間 ° たンボ ° ーるれてや | ます
が | 学 | す | が | 取 | る | び | 子 | の | 除 | ど | 場 | も | 除 | け | が | は | は | い | 個



ユニバーサルデザインと運動会

そのあり方を問い続ける！ 附属幼稚園の運動会

今年の運動会の開催に当たっては、巨大台風の進路に一喜一憂しながらも、先般の台風被害に追い打ちをかけることが確実な関東地方の状況を慮り、当初より複雑な思いがありました。やはり予想を遙かに超える規模の台風で、当日の園庭



は、ゴーゴーと唸る木々、舞い上がる砂埃で、目が開けられない瞬間もありました。実施しても子どもたちのベストなパフォーマンスは望めなかっただろうと思います。一転して翌日は、絶好の運動会日和。テントや旗飾り、入退場門の装飾も設置できました。子どもたちも元気いっぱい「きらきら輝く目」で「かっこいい姿」を見せてくれました。ただ、やはり台風の被害は甚大で、多くの方が犠牲になられ、被害に遭われたと聞いています。紙上ではありますが、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、運動会では、今年もPTAの役員の方々やくすのき会のお父様方に沢山お手伝い頂きました。ここ数年来、PTAの役員の方々には、「誰でも参加できるたのしい附幼のPTA活動」を目指して、質を落とさず無理と無駄を削ぎ落とすことに知恵と勇気を振り絞って頂いています。今回の運動会も、「親子のふれ合いとは」と自ら問い直し、大胆な競技の見直しを試みて下さいました。「変える」というのは、実はとても難しいことです。前例踏襲は楽です。しかし、何事もまずやってみる姿勢が、附属幼稚園のPTA活動の活性化と、真の発展に繋がると考えます。本当にお疲れ様でした。



「学校教育に運動会は必要か」という議論があります。欧米には無いからです。子どもたちのこの成長を目の当たりにすると、やはり運動会はあって良いと感じます。ただ、「どうあるべきか」の議論と、「見直しの視点」は常に必要です。「遊びの延長上に作り上げるという附幼の運動会は必見だ！」「PTAとして



園を支える姿はこれだ！」と、他園の関係者が参考にしたいくなるような運動会を目指し、これからもブラッシュアップしていかけていってはいかがでしょうか。これもきっと本園の「使命」だと思います。